

「児童生徒と保護者と教職員の笑顔あふれる学校に」

令和6年度は、小学部19名、中学部23名、高等部30名の新入生を迎え、小学部101名、中学部56名、高等部71名、全児童生徒228名と全教職員171名で幕が開きました。県内でも屈指のマンモス特別支援学校です。

当校は、2016年(平成28年)、地域の方の署名を集め開校し、今年で9年目を迎えました。今、学校は中庭やグラウンドの植栽の緑の葉の賑わいのように、児童生徒たちと教職員のにぎやかな声や楽しそうな笑顔であふれています。笑顔はそれを見ている人も幸せにする力がありますね。

今年度の当校の教育は、学校内外の行事や地域とのつながりを活発に行い、児童生徒が地域の中で体験的な活動を通して学び成長し、何より笑顔あふれる1年間にしたいと考えます。小学部、中学部、高等部の児童生徒が一堂に会した始業式で、私はこう話しました。『皆さんに2つお願いがあります。1つ目は「笑顔でおはよう」「心からありがとう」「素直にごめんなさい」が言える人になってください。2つ目は、1日にひとつは「楽しかった、よかった、面白かった」を見つけましょう。これらは、人と人が仲良く生きるための「魔法の言葉と行動」です』と。また、教職員にも同じ話をして、改めて児童生徒に指導する事柄は翻って教職員にも言えることと伝えました。

最後に、私たち羽島特別支援学校の教職員は、児童生徒の笑顔のために、熱意と責任をもって指導してまいります。保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力をいただき、児童生徒の笑顔と成長を願いながら協同歩調で歩んでいただきますようお願いいたします。

令和6年4月1日

岐阜県立羽島特別支援学校

校長 廣瀬 雅行